

結核定期健康診断実施報告書

専修・各種学校用
記入例

横浜市 市長

実施月 平成31年 4月

学校は、『事業者として業務従事者』に対し、また、『学校の長として、学生・生徒(高校生以上に相当する新入生)』に対し、健康診断を行わなければなりません。

提出年月日 平成31年 5月 8日

担当者名 ×× ×××

電話番号 〇〇〇 - 〇〇〇〇

事業等の名称・所在地		〇〇専修学校 横浜市〇〇区〇〇町〇-〇-〇			報告が必要な学生・生徒は、『高校生以上に相当する新入生』です。	
実施者名 (学校長・施設長)		学校法人 〇〇学園 理事長 〇〇 〇〇				
実施者種別		事業者	学校の長		施設の長	
対象者の区分		業務従事者	高校 高等専門学校 (新入生)	大学 短期大学 大学院 (新入生)	専修 各種学校 (新入生)	刑事施設 収容者 (20歳以上) 社会福祉施設 入所者 (65歳以上)
対象者数		50	業務従事者とは、常勤・非常勤問わず、継続してその業務に従事している者を含みます。		130	
受診者数		49			125	
間接撮影者数		0			0	
直接撮影者数		49			125	
かくたん検査者数		0			0	対象者数と受診者数が異なる場合は、未受診数とその理由をご記入ください。
被発見者数	結核患者	0	かくたん(喀痰)検査は必須項目ではありません。実施された場合はご記入ください。		0	
	結核発病のおそれがあると診断された者	0			0	
未受診数・理由 (具体的に記入すること) (別紙に記入してもよい)		従事者の1名は妊娠中。生徒の5名は当日欠席の為、後日受診予定				

記入上の注意

- 対象者の区分ごとに、対象者数、受診者数、健康診断実施方法別受診者数及び被発見者数を記入すること。
- 「従事者」の欄は、事業所従業員、教職員、施設職員等を記入すること。
- 「高校・高等専門学校」、「大学・短期大学・大学院」及び「専修・各種学校」の欄は、新たに入学した学年(1年生)を記入すること。
- 「施設入所者」の欄は、65歳以上の者を記入すること。
- 「受診者数」には、定期の健康診断を受けた者の他、がん検診や人間ドック等で健康診断を受け、診断書等を実施者に提出した者も含む。但し、受診結果の報告がない場合は、未受診とし、「未受診数・理由」欄にその旨を記入すること。

※提出先 : 所在地の区役所(区福祉保健センター健康づくり係)